

平成24年度市政アンケート調査 報告書

(テーマ:「地域の活動やまちづくり」について)

実施時期 : 平成24年9月20日～10月3日

対 象 : 福岡市市政アンケート調査協力員* 約600人

* 福岡市内に住む20歳以上の男女から無作為抽出し、年間を通したアンケート調査への協力をお願いし、承諾した者

実施方法 : 郵送又は電子メールにより配布・回収

回 収 率 : 84.6% (回収数 553 / 調査数 654)

調査テーマ担当課 : 市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課

TEL:092-733-5161 FAX:092-733-5595

E-Mail:community.CAB@city.fukuoka.lg.jp

結果の数値は構成比(%)。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合もある。

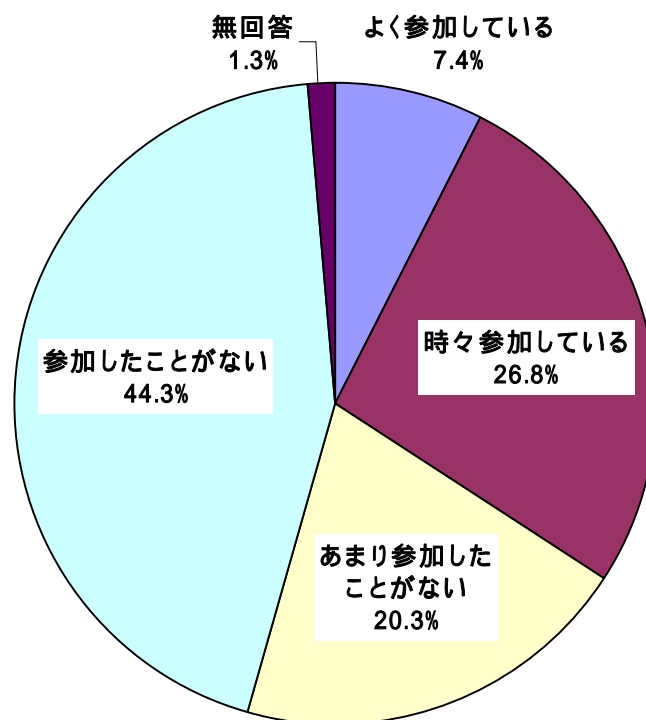
(1) 過去2年間における地域活動への参加状況

問1 あなたは過去2年間において、お住まいの地域で、住民が主体となっていて行っている活動（地域活動）に参加したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号にをつけてください。

住んでいる地域で住民が主体となっていて行っている活動（地域活動）に参加したことがあるかをきいたところ、「よく参加している」が7.4%、「時々参加している」が26.8%となっており、両者を合わせると34.2%となっている。

また、「参加したことがない」(44.3%)、「あまり参加したことがない」(20.3%)を合わせると、64.6%となっている。

過去2年間における地域活動への参加状況



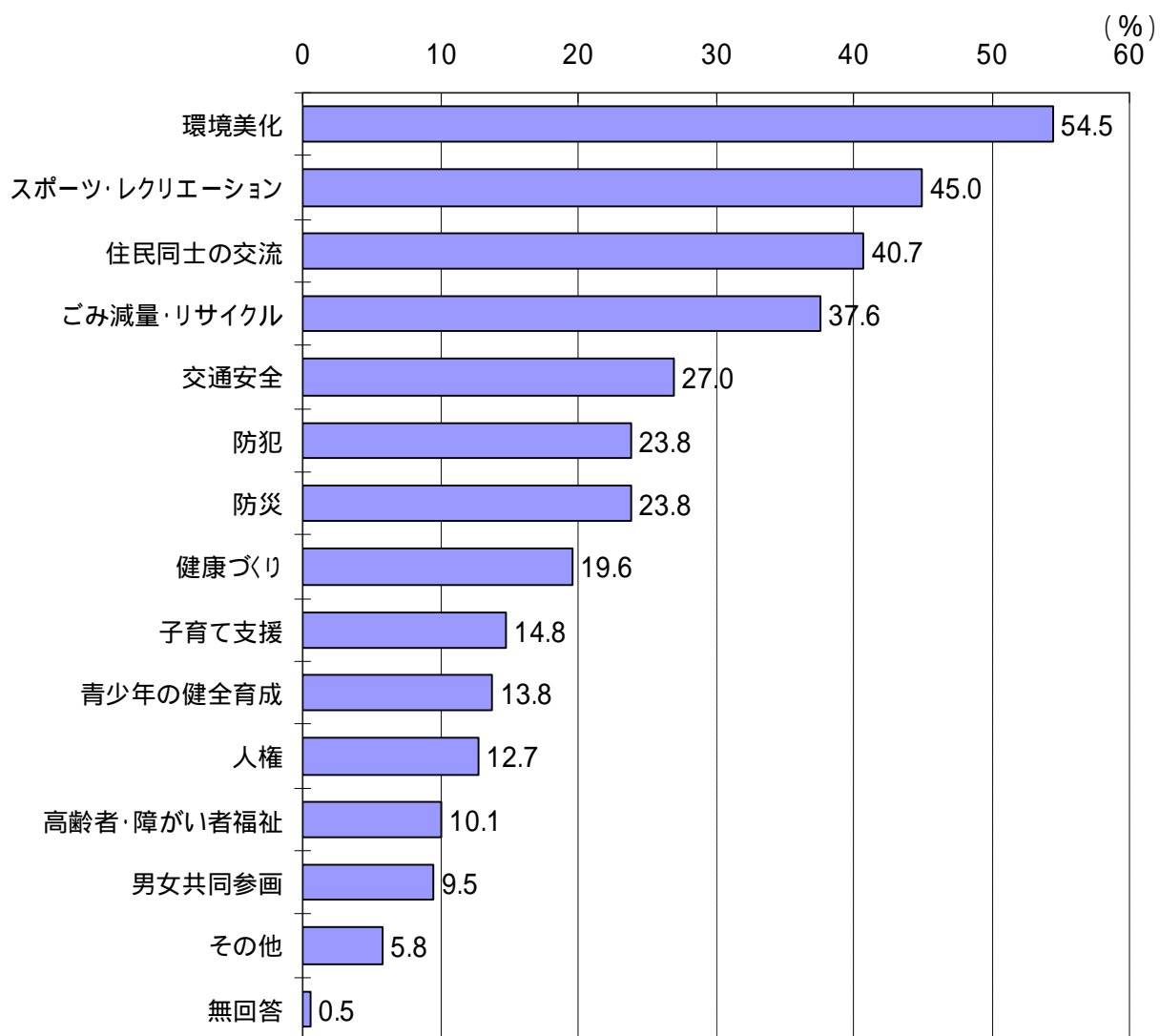
全体(N=553)

(1) - 1 参加した活動内容

問1 - 1 【問1で「1 よく参加している」「2 時々参加している」と回答した方におたずねします。】
どのような分野の活動に参加しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号をつけてください。

住民が主体となっていて行っている活動（地域活動）に『参加している』人に、その活動内容についてきいたところ、「環境美化」(54.5%)、「スポーツ・レクリエーション」(45.0%)、「住民同士の交流」(40.7%)が4割を超えている。

参加した活動内容

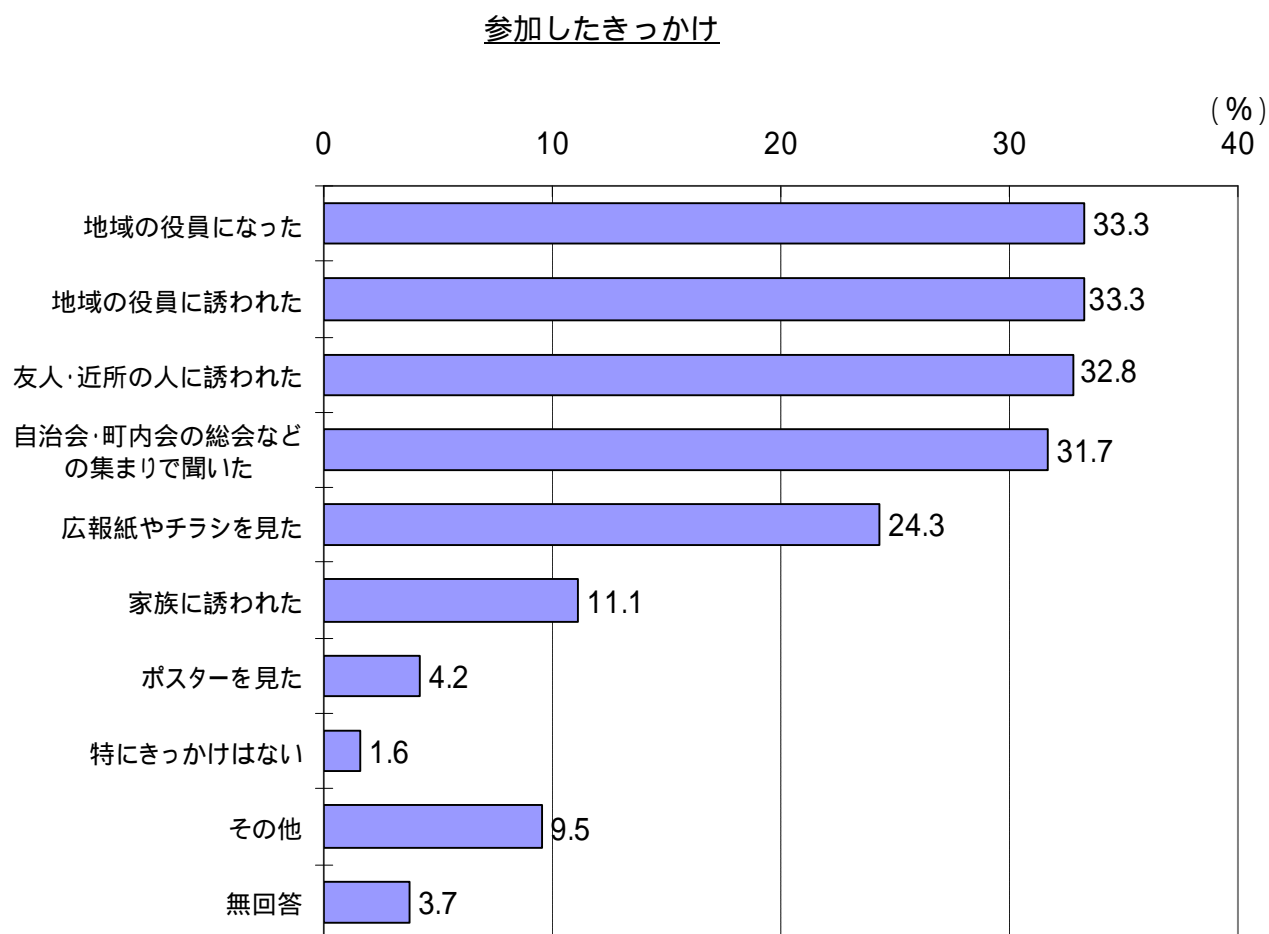


全体 (n = 189)

(1) - 2 参加したきっかけ

問1 - 2 【問1で「1 よく参加している」「2 時々参加している」と回答した方におたずねします。】
参加したきっかけは何でしたか。あてはまるものをすべて選び、番号に をつけて
ください。

住民が主体となって行っている活動（地域活動）に『参加している』人に、参加したきっかけをきいたところ、「地域の役員になった」（33.3%）、「地域の役員に誘われた」（33.3%）、「友人・近所の人に誘われた」（32.8%）、「自治会・町内会の総会などの集まりで聞いた」（31.7%）の順となっている。



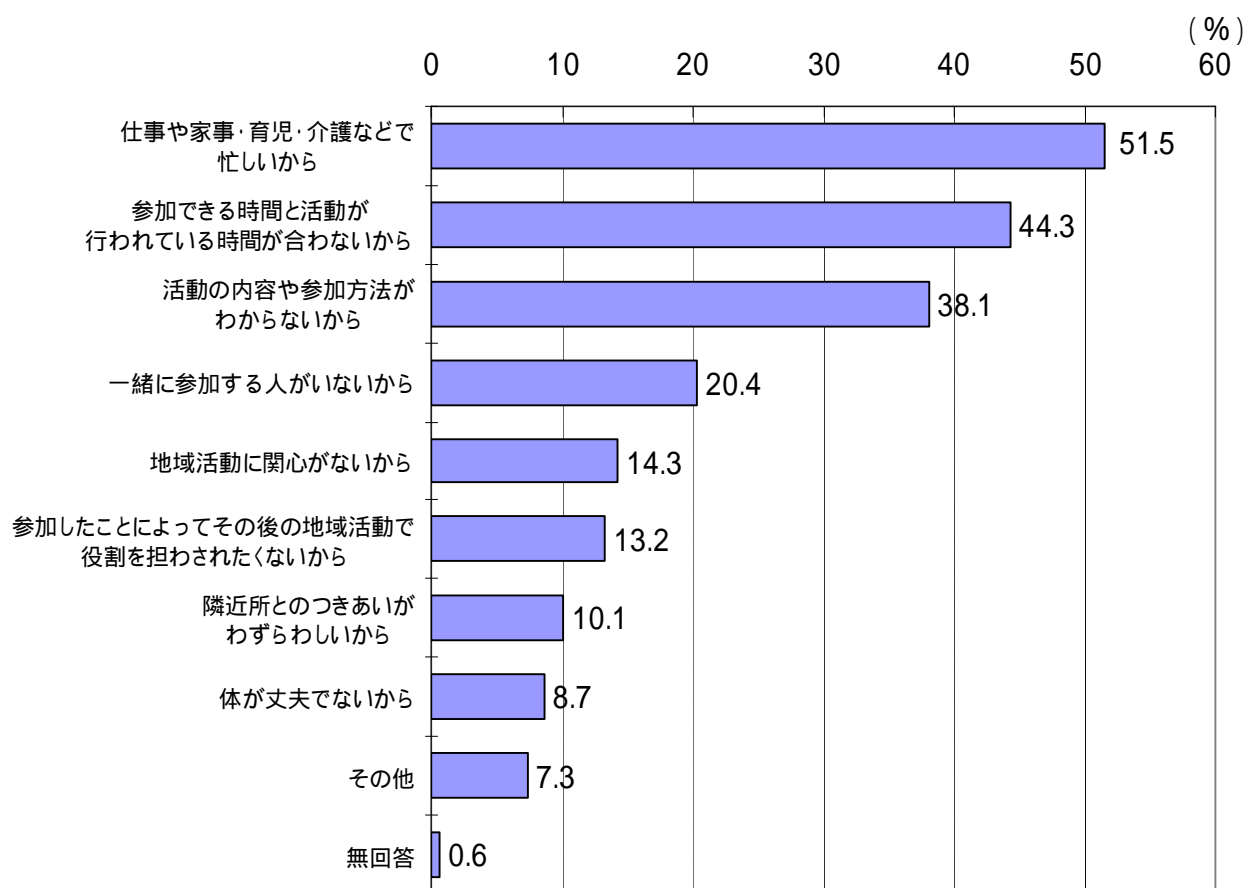
全体 (n = 189)

(1) - 3 参加しなかった（できなかった）理由

問1 - 3 【問1で「3 あまり参加したことがない」「4 参加したことがない」と回答した方におたずねします。】
 地域活動に参加しなかった（または参加できなかった）理由は何ですか。あてはまるものを3つまで選び、番号に をつけてください。

住民が主体となっていて行っている活動（地域活動）に『参加していない』人に、その理由についてきいたところ、「仕事や家事・育児・介護などで忙しいから」（51.5%）の割合が最も高く、次いで「参加できる時間と活動が行われている時間が合わないから」（44.3%）、「活動の内容や参加方法がわからないから」（38.1%）の順となっている。

参加しなかった（できなかった）理由



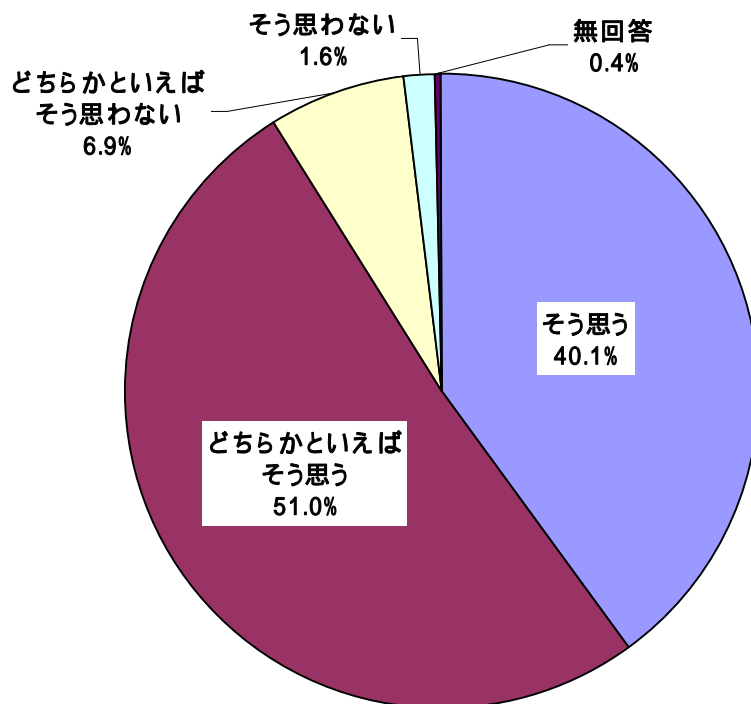
全体 (n = 357)

(2) 地域を住みやすくするための地域活動の大切さ

問2 お住まいの地域をより住みよくするために、あなたは、地域活動を行うことは大切だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に をつけてください。

住んでいる地域をより住みよくするために、地域活動を行うことが大切と思うかどうかをきいたところ、「そう思う」が40.1%、「どちらかといえばそう思う」が51.0%となっている。両者を合わせた割合は91.1%となっており、多くの人が地域活動を行うことは大切だと思っていることがわかる。

地域を住みやすくするための地域活動の大切さ

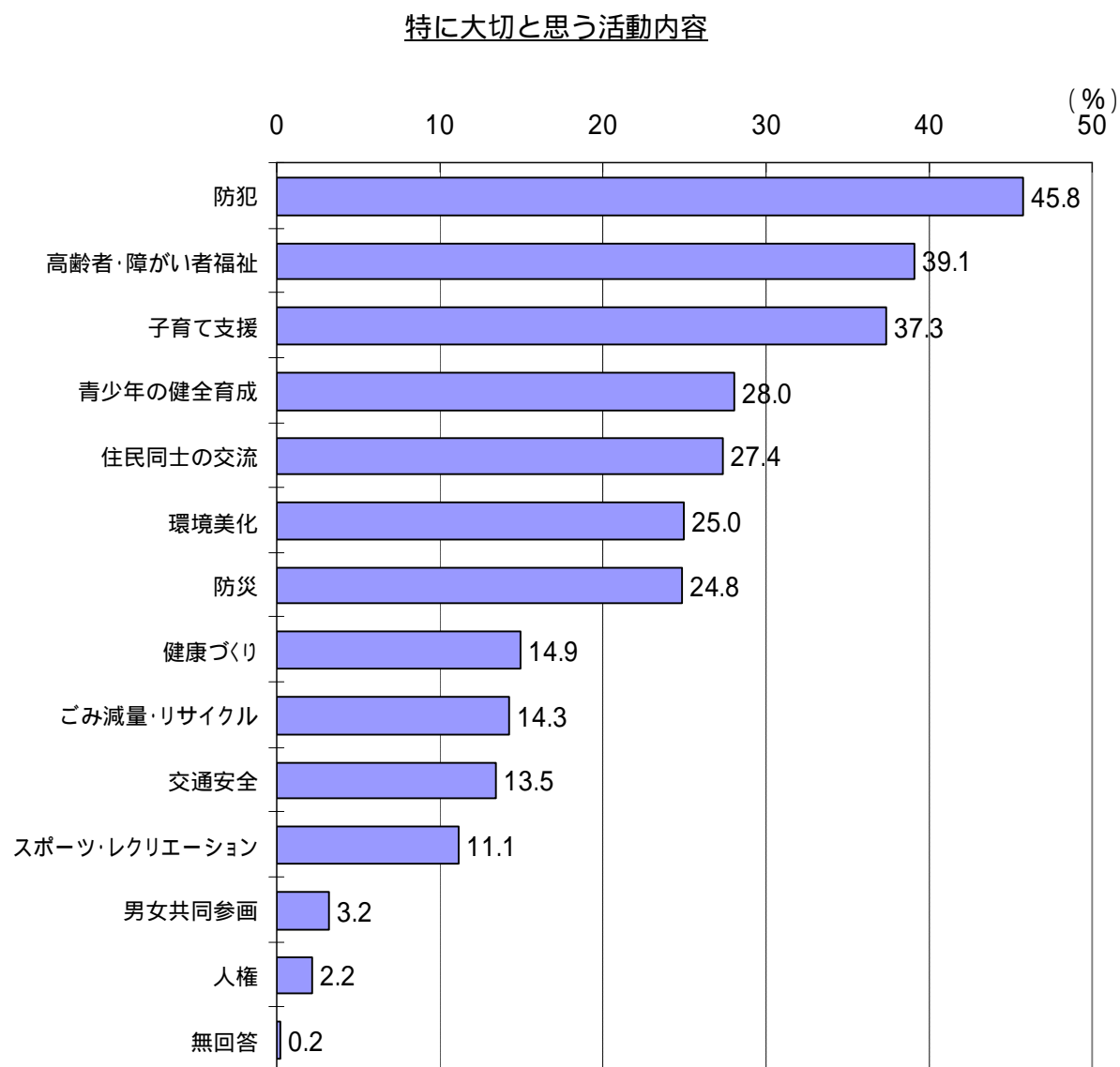


全体 (N = 553)

(2) - 1 特に大切と思う活動内容

問2 - 1【問2で「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と回答した方におたずねします。】
特にどのような分野の活動が大切だと思いますか。あてはまるものを3つまで選び、番号に をつけてください。

住んでいる地域をより住みよくするために、『地域活動を行うことが大切』と答えた人に、特に大切だと思う分野の活動内容についてきいたところ、「防犯」(45.8%)の割合が最も高く、次いで「高齢者・障がい者福祉」(39.1%)、「子育て支援」(37.3%)、「青少年の健全育成」(28.0%)、「住民同士の交流」(27.4%)の順となっている。



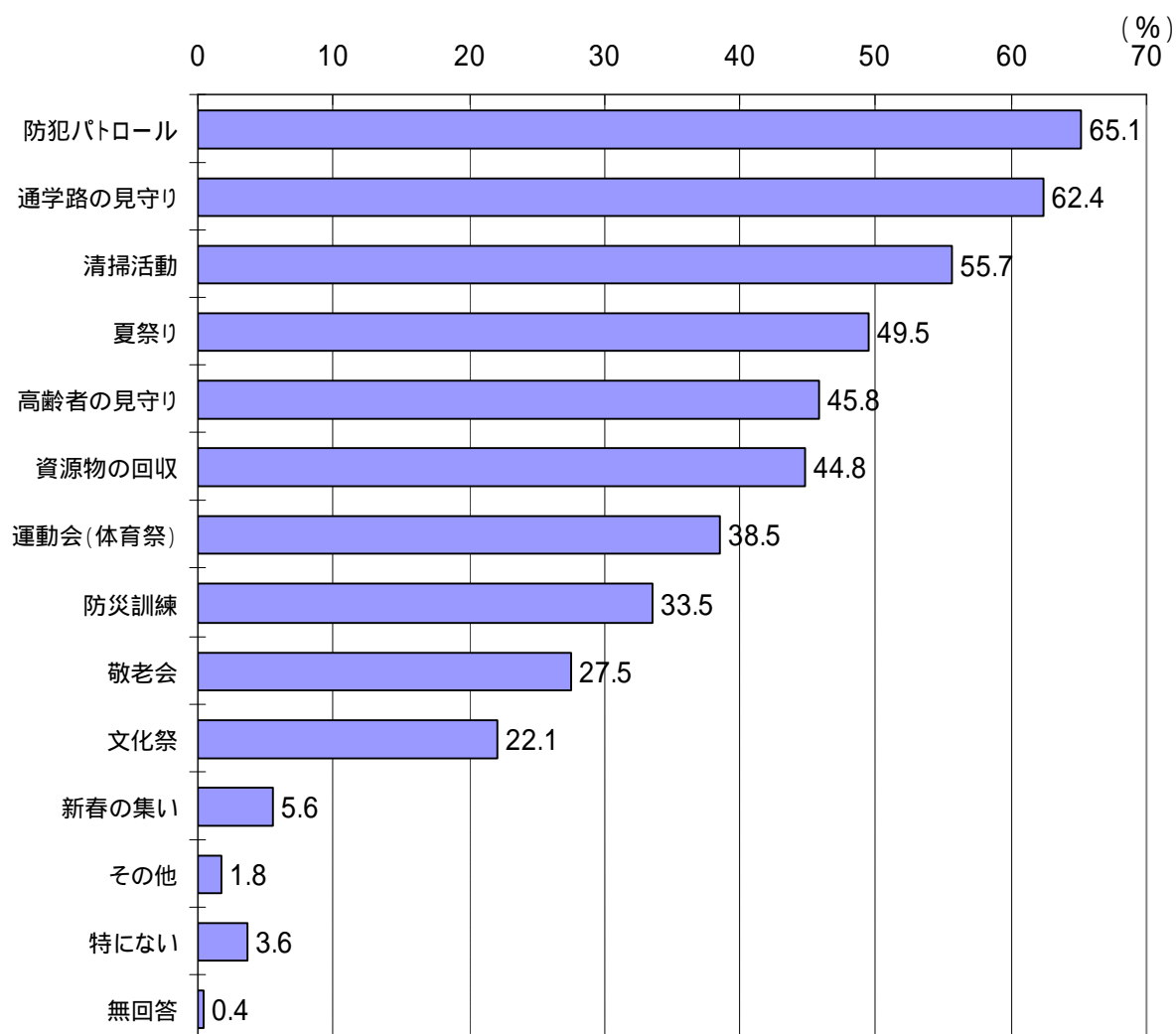
全体 (n = 504)

(3) 地域で行われてほしいと思う活動内容

問3 お住まいの地域で、どのような活動が行われるとよいと思いますか。あてはまるもの(すでに行われているものも含まれます)をすべて選び、番号に をつけてください。

住んでいる地域でどのような地域活動が行われるとよいかきいたところ、「防犯パトロール」(65.1%)、「通学路の見守り」(62.4%)の割合が高く、次いで「清掃活動」(55.7%)、「夏祭り」(49.5%)、「高齢者を見守り」(45.8%)、「資源物の回収」(44.8%)の順となっている。

地域で行われてほしいと思う活動内容



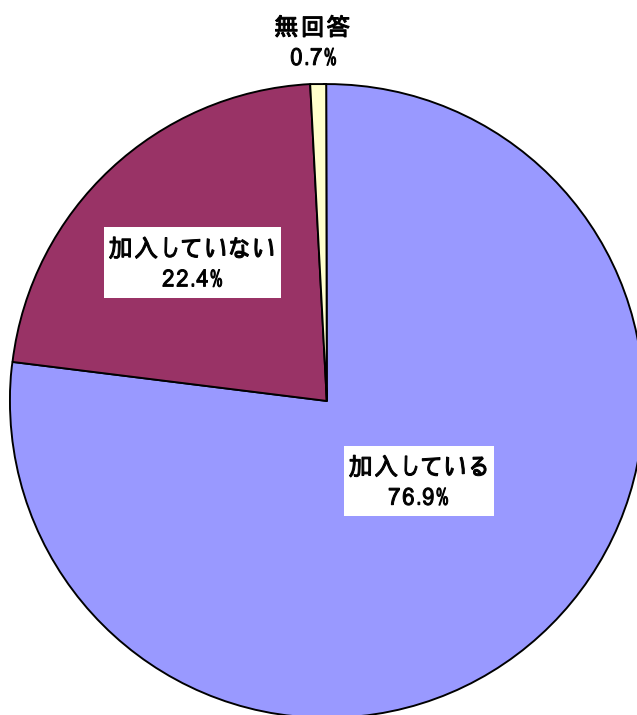
全体(N=553)

(4) 自治会・町内会の加入状況

問 4 あなた（またはあなたの世帯）は、お住まいの地域の自治会・町内会に加入していますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に をつけてください。

自治会・町内会の加入状況についてきいたところ、「加入している」と答えた人は76.9%、「加入していない」は22.4%となっている。

自治会・町内会の加入状況



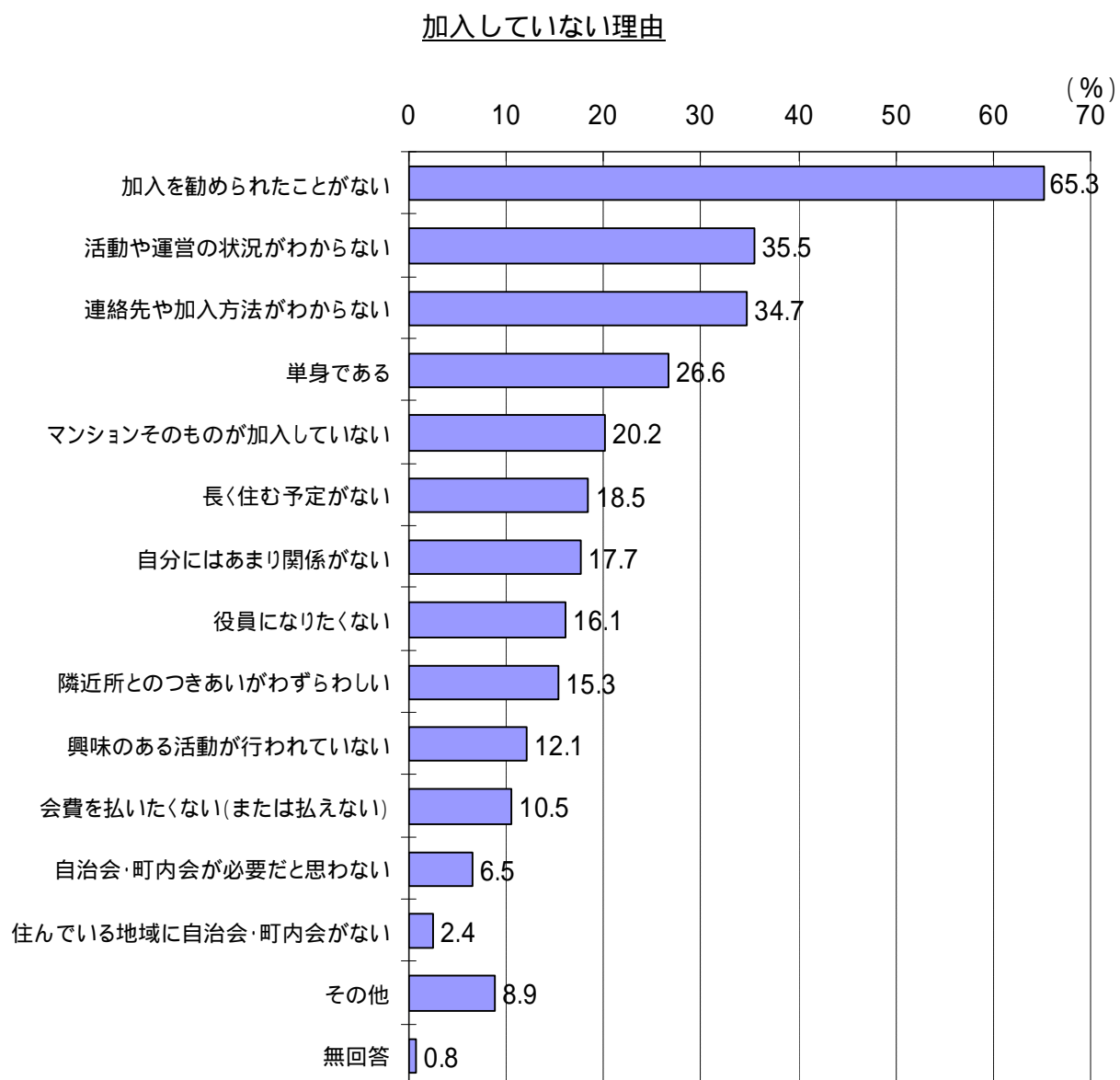
全体 (N = 553)

(4) - 1 加入していない理由

問 4 - 1 【問 4 で「 2 加入していない」と回答した方におたずねします。】

自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に をつけてください。

自治会・町内会に加入していない人に、その理由をきいたところ、「加入を勧められたことがない」(65.3%)の割合が最も高く、次いで「活動や運営の状況がわからない」(35.5%)、「連絡先や加入方法がわからない」(34.7%)の順となっている。



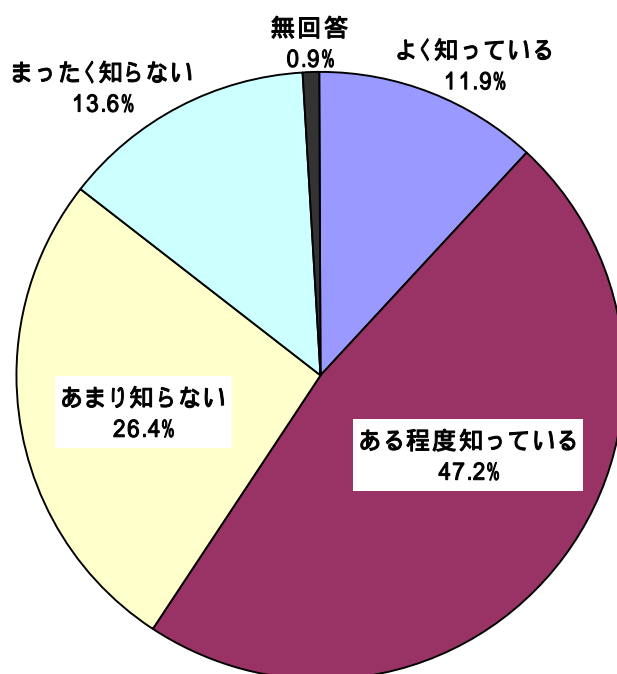
全体 (n = 124)

(5) 自治会・町内会の活動内容の認知状況

問 5 あなたは、お住まいの地域の自治会・町内会がどのような活動を行っているかご存じですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に をつけてください。

住んでいる地域の自治会・町内会の活動内容についてきいたところ、「よく知っている」(11.9%)と「ある程度知っている」(47.2%)を合わせて、約6割の人が、『知っている』と答えている。

自治会・町内会の活動内容の認知状況



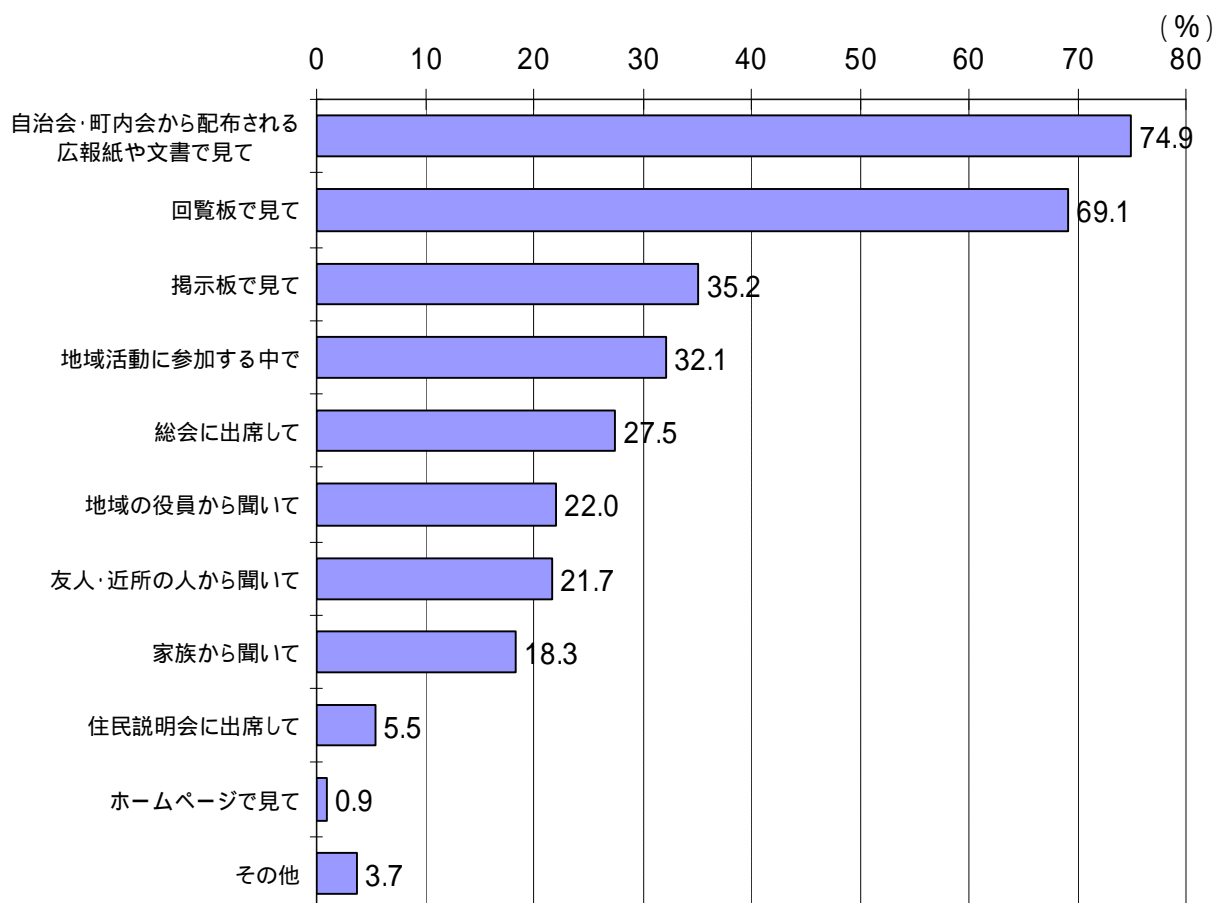
全体(N = 553)

(5) - 1 自治会・町内会の活動内容の認知経路

問 5 - 1 【問 5 で「1 よく知っている」「2 ある程度知っている」と回答した方におたずねします。】
自治会・町内会の活動について、どのようにして知りましたか。あてはまるものを
すべて選び、番号に をつけてください。

住んでいる地域の自治会・町内会の活動内容について、『知っている』と答えた人に、ど
のようにして知ったのかをきいたところ、「自治会・町内会から配布される広報紙や文書で
見て」(74.9%)と「回覧板で見て」(69.1%)の割合が高く、6割を超えている。

自治会・町内会の活動内容の認知経路



全体 (n = 327)

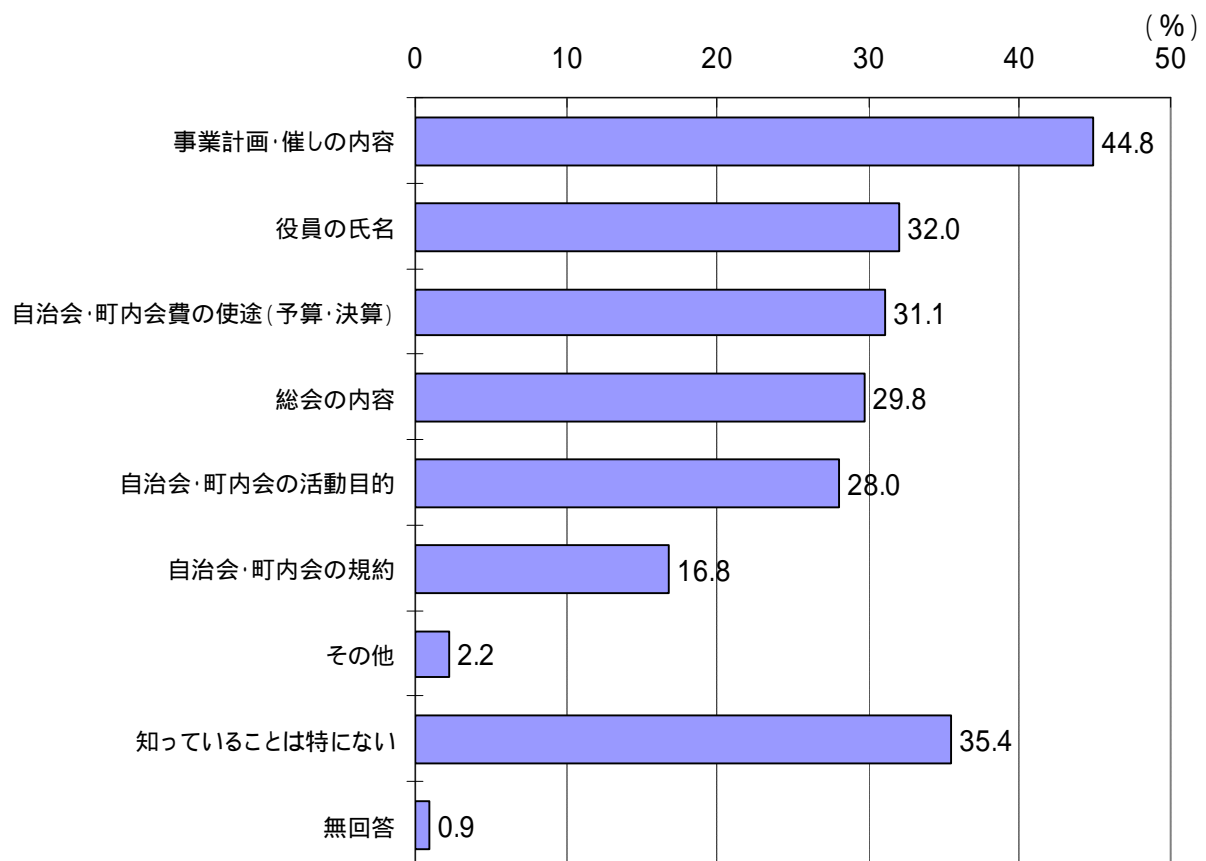
(6) 自治会・町内会の運営についての認知状況

問 6 あなたは、お住まいの地域の自治会・町内会の運営について、どのようなことを知っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に をつけてください。

住んでいる地域の自治会・町内会の運営について、どのようなことを知っているか聞いたところ、「事業計画・催しの内容」(44.8%)の割合が最も高く、次いで「役員の氏名」(32.0%)となっている。

一方で、約3人に1人が、「知っていることは特にない」(35.4%)と答えている。

自治会・町内会の運営についての認知状況



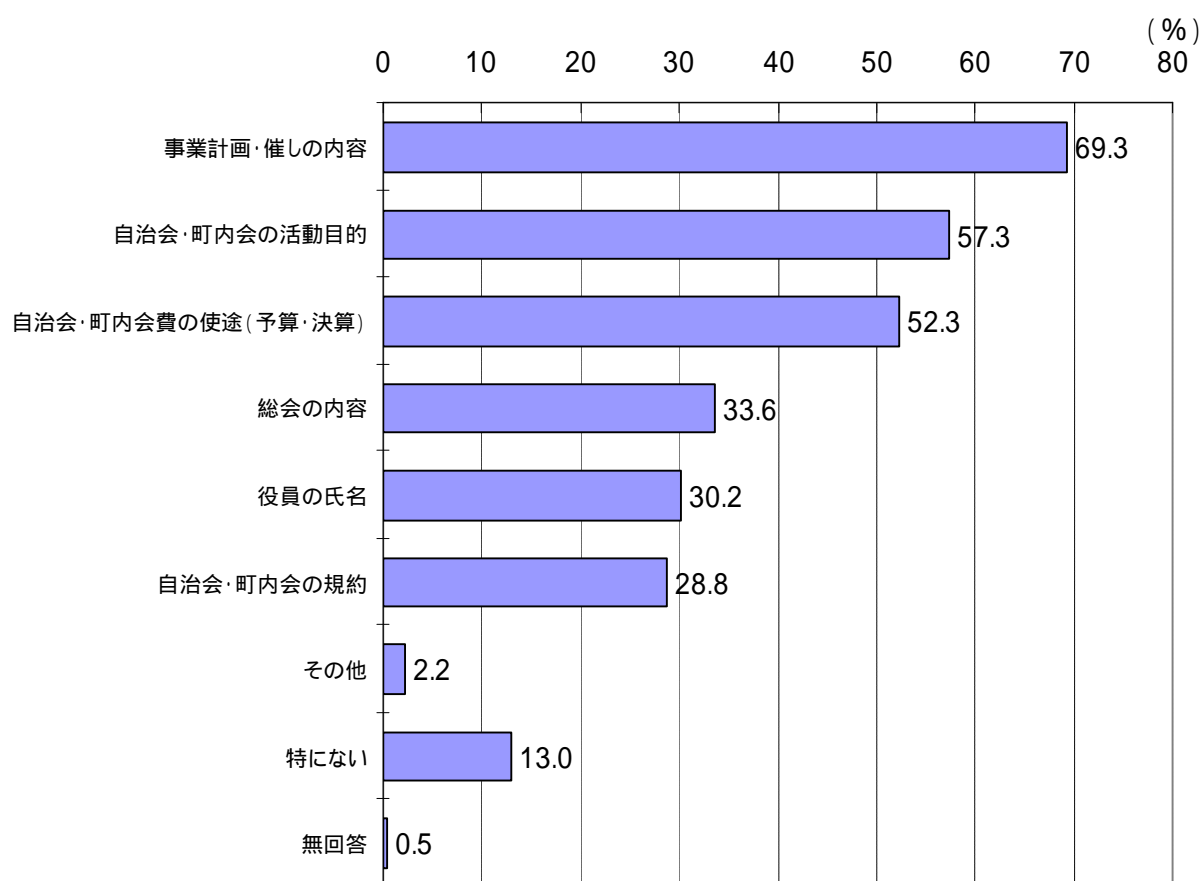
全体(N=553)

(7) 自治会・町内会が知らせるべき事柄

問7 自治会・町内会について、どのようなことを知らせるべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に をつけてください。

自治会・町内会はどのようなことを知らせるべきだと思うか聞いたところ、「事業計画・催しの内容」(69.3%)の割合が最も高く、次いで「自治会・町内会の活動目的」(57.3%)、「自治会・町内会費の使途(予算・決算)」(52.3%)の順となっている。

自治会・町内会が知らせるべき事柄



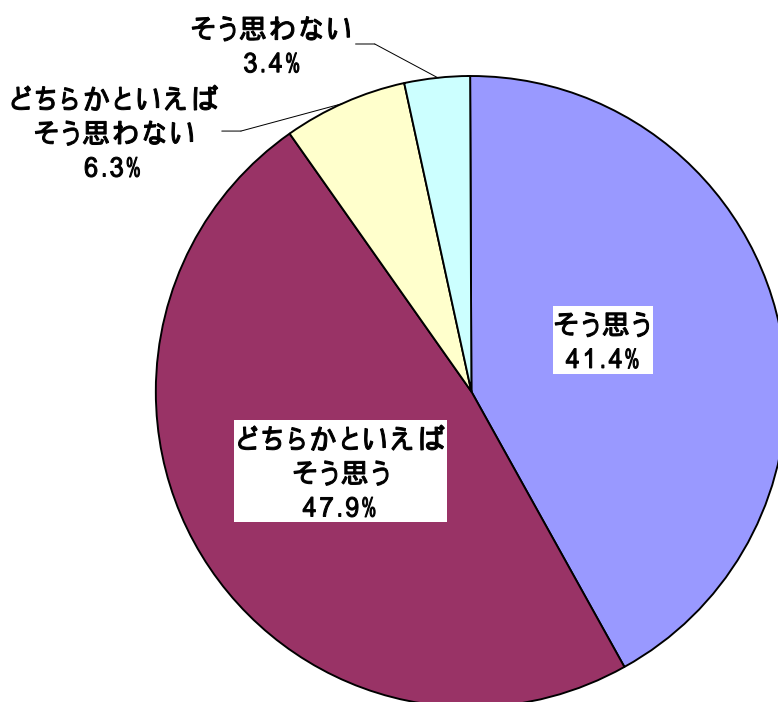
全体(N=553)

(8) 地域を住みやすくするための自治会・町内会の必要性

問 8 お住まいの地域をより住みやすくするために、あなたは、自治会・町内会は必要だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に をつけてください。

住んでいる地域を住みやすくするために、自治会・町内会は必要だと思うかについて聞いたところ、「そう思う」(41.4%)と「どちらかといえばそう思う」(47.9%)を合わせた割合は89.3%となっている。

地域を住みやすくするための自治会・町内会の必要性



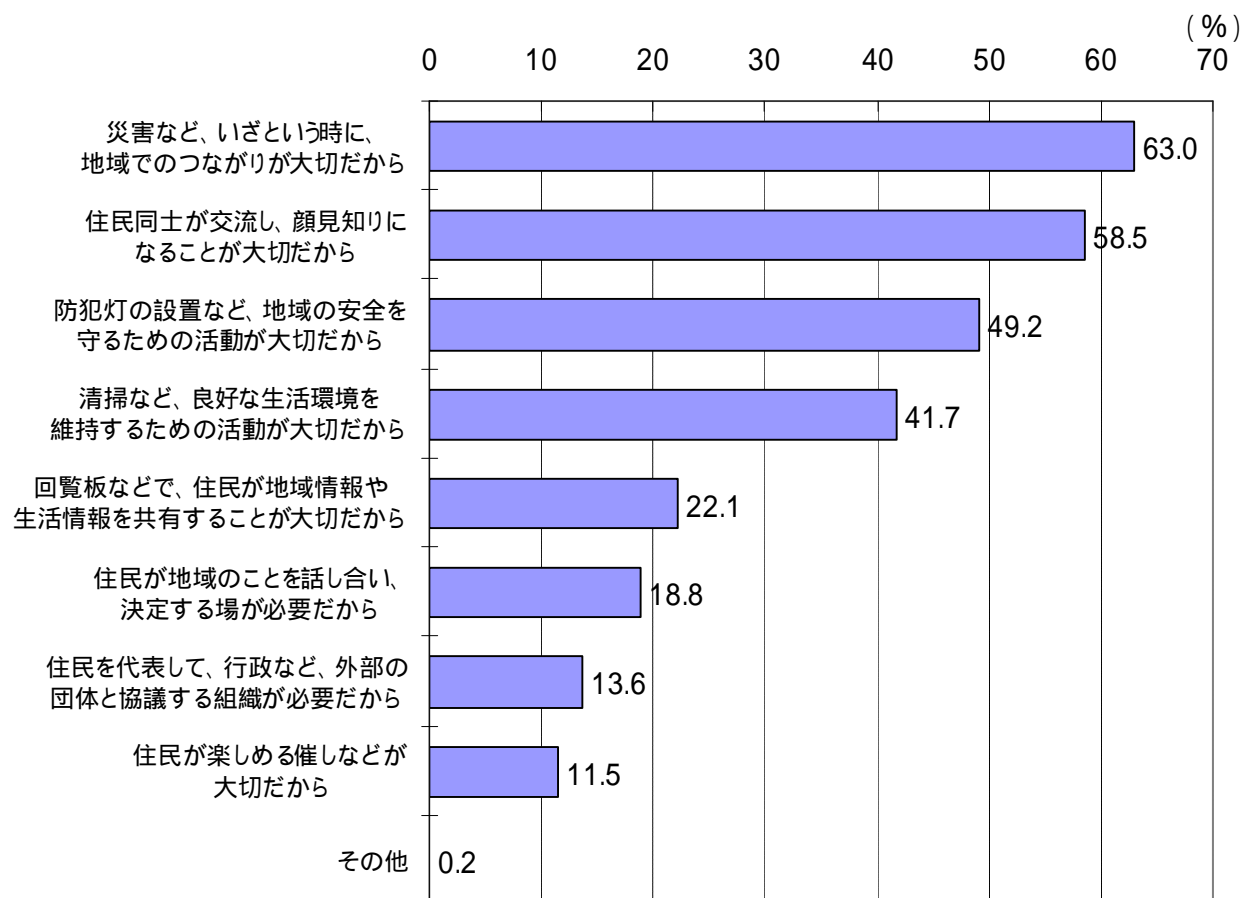
全体(N = 553)

(8) - 1 自治会・町内会が必要だと思ふ理由

問 8 - 1 【問 8 で「 1 そう思う」「 2 どちらかといえばそう思う」と回答した方におたずねします。】
自治会・町内会が必要だと思ふ(またはどちらかといえば必要だと思ふ)理由は何で
すか。あてはまるものを 3 つまで選び、番号に をつけてください。

地域を住みやすくするために自治会・町内会が『必要』だと答えた人に、必要だと思ふ理由についてきいたところ、「災害など、いざという時に、地域でのつながりが大切だから」(63.0%)の割合が最も高く、次いで、「住民同士が交流し、顔見知りになることが大切だから」(58.5%)、「防犯灯の設置など、地域の安全を守るための活動が大切だから」(49.2%)、「清掃など、良好な生活環境を維持するための活動が大切だから」(41.7%)の順となっている。安全に安心して暮らせる地域を作るため、また、いざという時のためにも、日頃から住民同士のつながりが大切だと考えている人が多いことがうかがえる。

自治会・町内会が必要だと思ふ理由



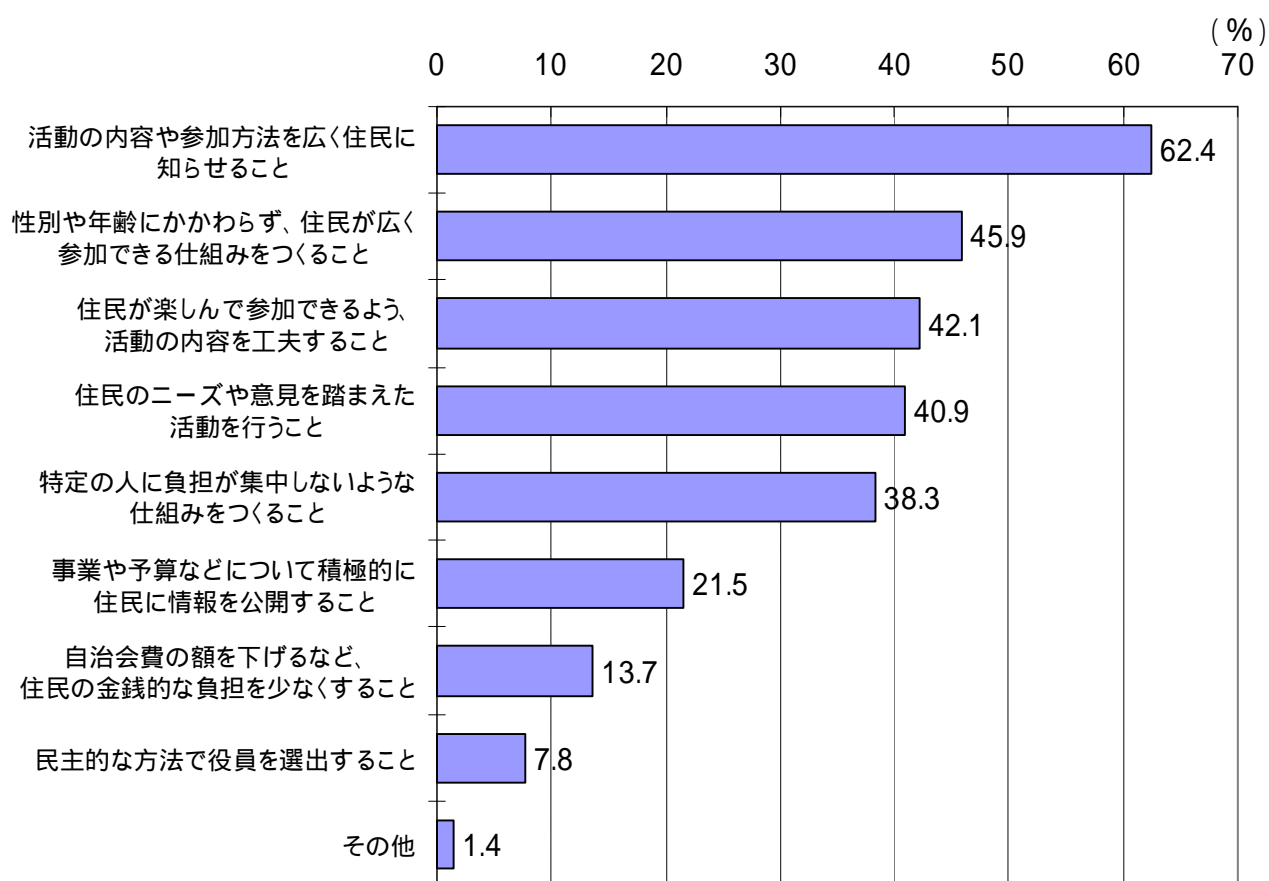
全体 (n = 494)

(9) 自治会・町内会が活動していくために大切な取組み

問 9 自治会・町内会が、多くの住民の理解や参加を得ながら活動していくためには、どのようなことに取り組むことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選び、番号にをつけてください。

自治会・町内会が、多くの住民の理解や参加を得ながら活動していくために大切な取組みについて聞いたところ、「活動の内容や参加方法を広く住民に知らせること」(62.4%)の割合が最も高く、次いで「性別や年齢にかかわらず、住民が広く参加できる仕組みをつくること」(45.9%)、「住民が楽しんで参加できるよう、活動の内容を工夫すること」(42.1%)、「住民のニーズや意見を踏まえた活動を行うこと」(40.9%)の順となっている。

自治会・町内会が活動していくために大切な取組み



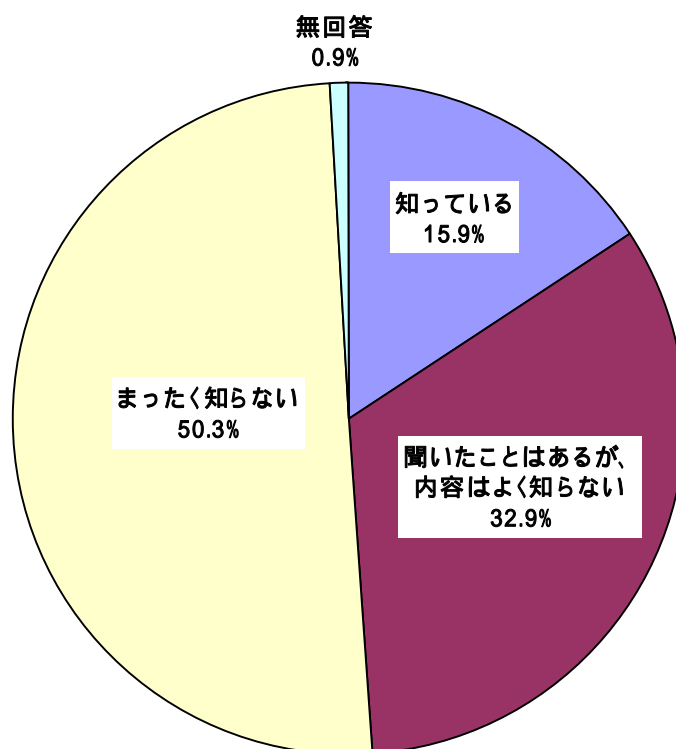
全体 (N = 553)

(10) 自治協議会の認知状況

問 10 福岡市は、各校区に対し、平成 16 年度から、『自治協議会』の設立を提案しています。
『自治協議会』は、多くの住民や団体の参加のもとで、防犯・防災、子ども、環境、福祉など、地域のさまざまな事柄についてみんなで話し合い、校区を運営していく組織です。(『自治協議会』の名称は、校区によって異なりますが、現在、市内の約 99% の校区で設立されています。)
あなたは『自治協議会』をご存知ですか。あてはまるものを 1 つだけ選び、番号をつけてください。

福岡市の『自治協議会』設立提案及び地域の動きについてきいたところ、「知っている」と答えた人は 15.9% となっている。なお、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は 32.9%、「まったく知らない」は 50.3% となっている。

自治協議会の認知状況

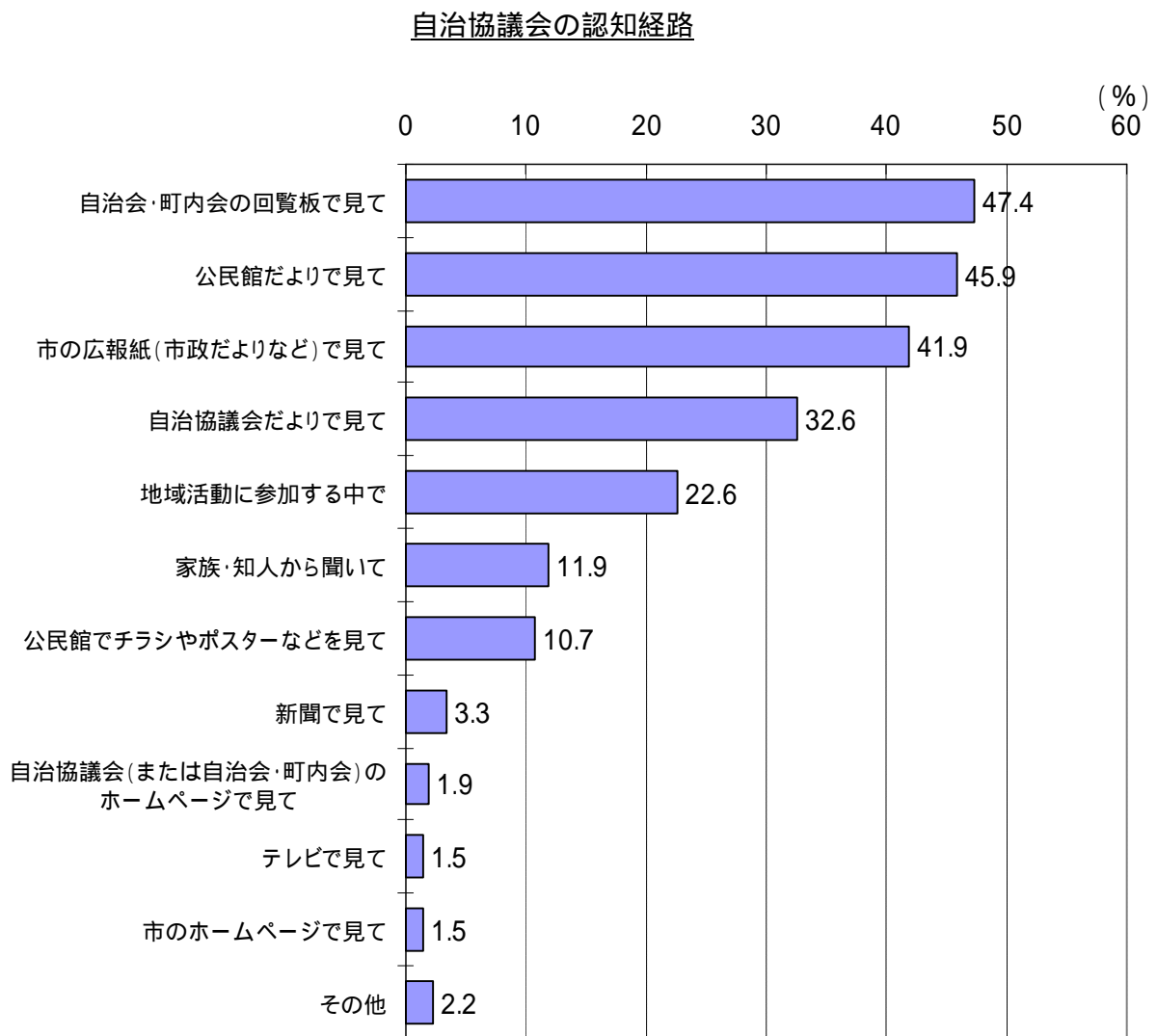


全体 (N = 553)

(10) - 1 自治協議会の認知経路

問 10 - 1 【問 10 で「1 知っている」「2 聞いたことはあるが、内容はよく知らない」と回答した方におたずねします。】
どのようにして自治協議会のことを知りましたか。あてはまるものをすべて選び、
番号に をつけてください。

自治協議会について、「知っている」または「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」と答えた人に、どのようにして知ったのかをきいたところ、「自治会・町内会の回覧板で見て」(47.4%)と、「公民館だよりで見て」(45.9%)の割合が高く、次いで「市の広報紙(市政だよりなど)で見て」(41.9%)、「自治協議会だよりで見て」(32.6%)の順となっている。



全体 (n = 270)

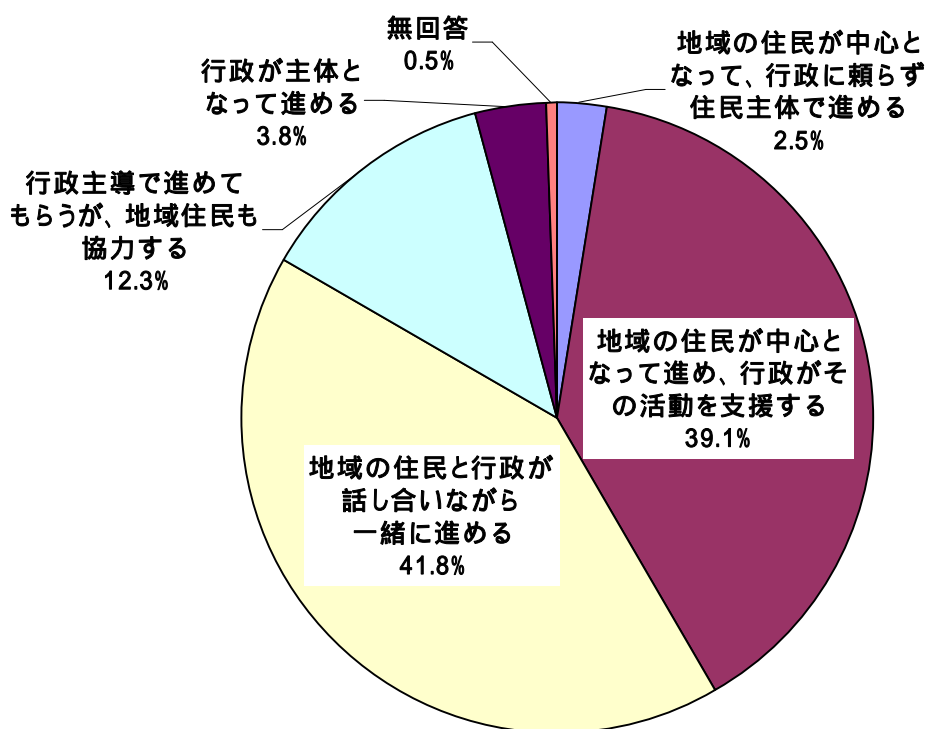
(11) 望ましい活動の進め方

問 11 お住まいの地域をよりよくするための活動は、どのように進めることが望ましいと思われますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選び、番号に をつけてください。

地域をよりよくするための活動の望ましい進め方について聞いたところ、「地域の住民と行政が話し合いながら一緒に進める」(41.8%)の割合が最も高く、次いで「地域の住民が中心となって進め、行政がその活動を支援する」(39.1%)の順となっている。

この結果から見ると、住民と行政が連携・協力しながら、地域をより良くしていくことが望まれているようである。

望ましい活動の進め方



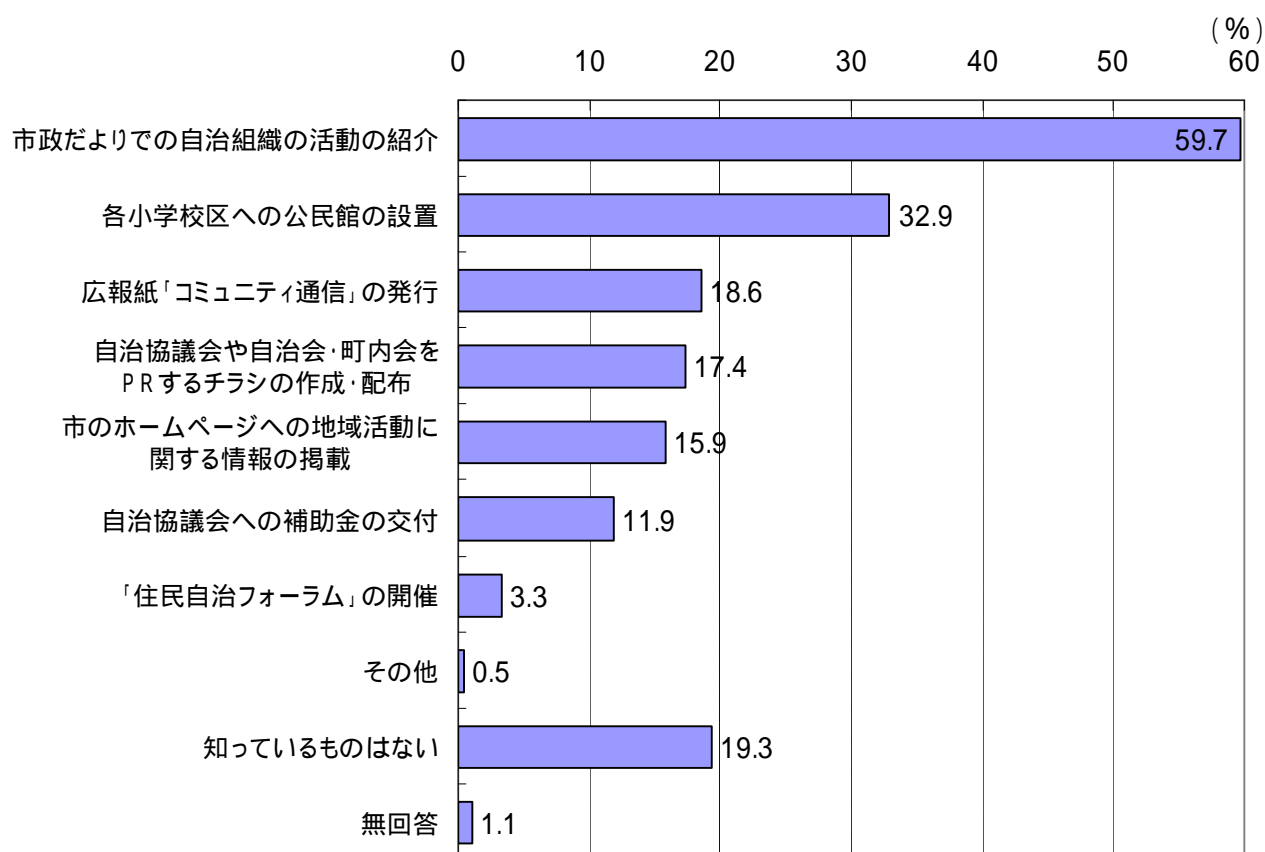
全体 (N = 553)

(12) 自治組織に対する市の支援施策の認知状況

問 12 市は、自治協議会などの自治組織の活動を支援するために、さまざまな取り組みを行っています。市が行なっている取り組みについて、あなたが知っている（聞いたことがあるも含みます）ものがありますか。あてはまるものをすべて選び、番号にをつけてください。

自治協議会などの自治組織の活動を支援するために、市が行っているさまざまな取り組みについて知っている（聞いたことがある）ものをきいたところ、「市政だよりでの自治組織の活動の紹介」の割合が59.7%と最も高く、次いで「各小学校区への公民館の設置（32.9%）」となっている。

自治組織に対する市の支援施策の認知状況



全体 (N = 553)